

パトカー屋根上のパトライトに設置（A県警：(株)インフォマティクス様導入）



◆ 導入のきっかけ

- パトカーが巡回中の映像を撮影したい。事故処理などしているときの現場周辺の映像を記録しておきたい。
- 以前に反射ミラー式の全方位カメラを取り付けたことがあったが、解像度が悪く、映像的に不満足であった。



◆ 360度カメラの設置状況

- パトライトの上に設置
- 全天候型のドームハウジングに収納
- レンズ基準面より下も撮影できる俯角付きの視野角214度のカメラを設置
- 走行中に、進行方向と後方の映像を分けて表示できるモード（180度パノラマモード）に設定



後方

1台のカメラで前後を撮影し、上下に分けて表示

◆ 映像例：1台の360度カメラの映像です

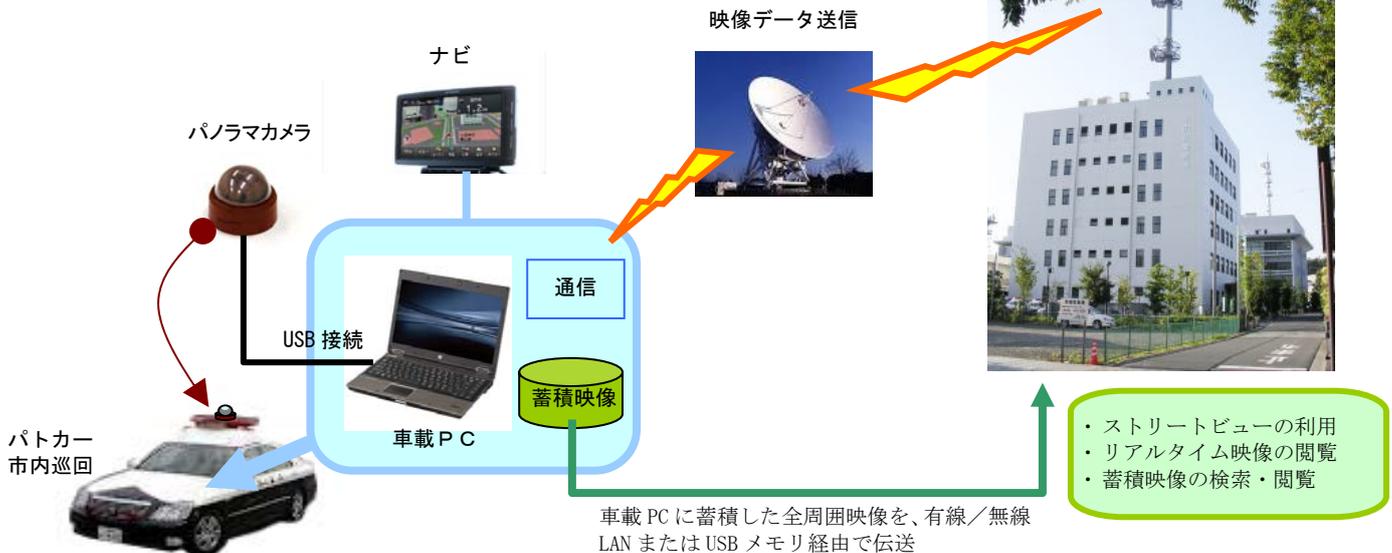
◆ 導入の効果

- 1台のカメラで全方位が撮影できる。
- 俯角付きなので路面近くまで撮影できる。
- 300万画素なので解像度が高く、映像がきれい。
- カーナビとの融合にて位置情報も同時に記録しており、現場検証に役立ち、本部からの現場状況確認も的確にできるようになった。

警察本部



◆ システム構成



本システムの発案・製作及びマッピングシステムは、(株)インフォマティクス様によります。